

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL101
講義科目名	応用日本語
開講年度	2024 年度
開講学期	後期（秋学期）
曜日時限	火曜 5 限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	末延 麻子（すえのぶ まこ）
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	グループワークやプレゼンテーション、スピーチなどの活動を通して、自分自身や社会について適切な語彙や表現を使い効果的に話せるようになることを目指します。
授業形態	対面（ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション）
履修に関わる注意事項	
授業計画	1. オリエンテーション／自己紹介の「鉄板ネタ」を作ろう 2. 話し手と聞き手の心得 3. 内容を深めよう(1) 4. 内容を深めよう(2) 5. 質疑応答について考えよう 6. 好きな映画や本のシーンを紹介しよう(1) 7. 好きな映画や本のシーンを紹介しよう(2) 8. グラフや表を効果的に使おう(1) 9. グラフや表を効果的に使おう(2) 10. グループプレゼンテーション 11. クラスメートに出身地のことを紹介しよう(1) 12. クラスメートに出身地のことを紹介しよう(2) 13. ディスカッション準備 14. ディスカッション 15. まとめ
テキスト	なし（適宜、資料を配布）
成績評価	クラス活動 20% ワークシート 20% 宿題・課題 20% 発表（スピーチ、グループプレゼンテーション） 40%
学習相談	授業の前後や必要なときに、相談してください。 事前にメールで担当教員に連絡してください。

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL102
講義科目名	研究方法論
開講年度	2024 年度
開講学期	後期（秋学期）
曜日時限	水曜 3 限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	郭 俊海（かく しゅんかい）
使用言語	日本語
教室	5 7 0 1
授業概要・目標	この授業は春学期に開講される必修科目「自主研究（ISP）」の準備コースです。研究とは何か、どのようなプロセスで進められるか、論文に適した表現とは何かなどを学び、日本語で論理的な文章を書くために必要な基本的な知識と高度な作文力を身につけることを目指します。毎週、学生は課題（様々な論述文を読解・要約して）提出します。授業では、提出された課題をもとにグループディスカッションや「読む」「書く」などの練習を行います。学期末には、各自が興味を持つテーマについて、約 2500 字程度の小論文を提出します。
授業形態	対面（ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション）
履修に関わる注意事項	
授業計画	○前半：論文の構成 1. オリエンテーション 2. 研究とは何か 3. 研究を進める順序 4. 量的研究と質的研究 5. テーマの見つけ方 6. 文献研究（要約の仕方） 7. 問いの立て方 8. 段落の書き方 ○後半：論文の表現 9. 意見の書き方 10. 話し言葉から書き言葉へ 11. 図表の書き方 12. 考察とは何か 13. 参考文献の書き方 14. 修正の仕方 15. まとめ
テキスト	なし（プリントを配布）
成績評価	クラス活動（20%）、タスクシート（30%）、宿題・課題（30%）、レポート・小論文（20%）
学習相談	授業の前後や必要なときに、相談してください。 事前にメールで担当教員に連絡してください。

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL103
講義科目名	日本語・日本文化概論 A
開講年度	2024-2025
開講学期	秋学期
曜日時限	金曜日 2 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	郭 俊海
使用言語	日本語
教室	センター5 号館 5701
授業概要・目標	近現代の有名な作家の作品を読み、日本語の理解力や運用力を高めることを目指す。具体的には、さまざまなスタイルの文章（小説）に触れ、これまで学んだ文法や語彙、表現を復習する。また、文学作品を通じて、作家の感受性や思想を正確に読み取りながら、語彙を増やし、自分の考えを述べる力や表現力を向上させる。さらに、各作品の時代背景や社会状況を把握し、それらを理解することで、総合的な思考力を養成する。
授業形態	配布された教材（作品）を読んだうえで、タスクシートの質問に答え、それをクラスに持ってくる。クラス活動では、3～4人のグループに分かれて、各自が書いたタスクシートの答えをもとに、時代背景や作家について意見を交換し、グループで話し合う。
履修に関わる注意事項	1. 必ず予習をしてくること。 2. 宿題は必ず提出期限までに提出すること。 3. できるだけ欠席や遅刻をしないようにすること（やむを得ない場合の欠席や遅刻は必ず連絡すること）。
授業計画（予定）	1. オリエンテーション：「社会や文化を学ぶ」とは？ 2. 「写真」（川端康成） 3. 「こころ」「坊っちゃん」の書き出しの部分（夏目漱石） 4. 「火鉢」（夏目漱石） 5. 「地獄変」（芥川龍之介） 6. 「藪の中」（芥川龍之介） 7. 発表 1ー私の国の文学作品の紹介 8. 「清兵衛と瓢箪」（志賀直哉） 9. 発表 2ー私の国の文学作品の紹介 10. 「母の死と新しい母」（志賀直哉） 11. 発表 3ー私の国の文学作品の紹介 12. 「野火」（大岡昇平） 13. 発表 4ー私の国の文学作品の紹介 14. 「侍」（遠藤周作） 15. まとめ
テキスト	毎回プリントを配布する。
成績評価	1. 平常点 20%（授業態度、教室活動に貢献できるかなど） 2. 発表 10% 3. 課題（タスクシート） 70%
その他 （自由記述欄）	発表のガイドラインは最初の授業時に配布する。

ILCC 授業シラバス

講義コード	JL106
講義科目名	日本社会と地域方言
開講年度	2024 年度
開講学期	後期（秋学期）
曜日時限	金曜日 3 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	楠木 理香
使用言語	日本語
教室	5701
授業概要・目標	ことばと地域、ことばと社会のそれぞれの関わりを考え、日本語の地域方言の特色について学ぶ。自分がこれまで学習し、日常生活の中で触れてきた日本語を今一度振り返り、日本の地域方言について知識を広げ、日本語及び今後の日本語学習に対する興味をさらに深めていくことを目標とする。
授業形態	1. 講義 2. ディスカッション 3. 発表
履修に関わる注意事項	
授業計画	1. ガイダンス、地図から見えることばの地域差（1） 2. 地図から見えることばの地域差（2） 3. ことばの仕組みから見える地域差（1） 4. ことばの仕組みから見える地域差（2） 5. コミュニケーションから見えることばの地域差（1） 6. コミュニケーションから見えることばの地域差（2） 7. コミュニケーションから見えることばの地域差（3） 8. 社会の変化から見えることばの地域差（1） 9. 社会の変化から見えることばの地域差（2） 10. 社会の変化から見えることばの地域差（3） 11. 方言から見える日本の社会（1） 12. 方言から見える日本の社会（2） 13. 発表（1） 14. 発表（2） 15. 方言から見える日本の社会（3）、まとめ
テキスト	なし
参考書	1. 木部暢子・竹田晃子・田中ゆかり・日高水穂・三井はるみ編著（2014）『方言学入門』三省堂 2. 真田信治・朝日祥之・簡月真・李舜炯編（2021）『新版社会言語学図集』

	ひつじ書房
成績評価	10% クラス活動 30% ふりかえりシート／その他の提出物 30% 課題（10%×3） 20% 発表 10% レポート
学習相談	リクエストに応じて随時対応します。メールで連絡してください。
その他 （自由記述欄）	

ILCC 授業シラバス

講義コード	JC101
講義科目名	日本の宗教と社会
開講年度	2024 年度
開講学期	後期（秋学期）
曜日時限	木曜日 3 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	木下博子
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	本講義では、現代日本社会における宗教とその関係性について、学際的な観点から考察することを目的とします。 具体的には、社会と宗教、政治と宗教、個人と宗教の相互関係に焦点をあてて、宗教的实践から日本社会への理解を深めます。講義では学生主導のディスカッションをベースに、提示されたトピックについて自らの考えを積極的に述べることを期待されます。日本の宗教についての基礎的な知識についての講義ではありませんので、受講生は日本における仏教、神道、キリスト教についての基礎的な背景知識を理解しておいてください。
授業形態	講義、ディスカッション、プレゼンテーション
履修に関わる注意事項	
授業計画	第 1 回：オリエンテーション 第 2 回：信仰とはなにか 第 3 回：宗教とはなにか 第 4 回：個人プレゼンテーション 第 5 回：死後の世界① 第 6 回：死後の世界② 第 7 回：個人プレゼンテーション 第 8 回：八百万の神① 第 9 回：八百万の神② 第 10 回：個人プレゼンテーション 第 11 回：神道の役割① 第 12 回：神道の役割② 第 13 回：個人プレゼンテーション 第 14 回：カルト宗教 第 15 回：最終プレゼンテーション
テキスト	なし。予習や宿題の際に必要な文献を適宜紹介、配布します。

参考書	なし。
成績評価	個人プレゼンテーション 40%、最終プレゼンテーション 20%、宿題 40%
学習相談	短時間の場合、授業の前後に対応します。文献の紹介や、研究テーマの相談等、一定の長さの時間が必要な場合は、メールや口頭でアポイントメントをとってください。
その他 (自由記述欄)	・講義中の積極的な発言を奨励します。 ・宿題は締め切りを守りましょう。 ・授業を欠席する場合は、必ず担当教員に事前に連絡しましょう。 ・講義中のスマートフォンの利用は禁止します。

ILCC 授業シラバス

講義コード	JC102
講義科目名	和菓子と日本人 A Wagashi in Japanese Life A
開講年度	2024 年度
開講学期	後期（秋学期）
曜日時限	火曜日 2 時限 10:30-12:00（日本時間）
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	脇坂 真彩子（わきさか まさこ）wakisaka.masako.898@m.kyushu-u.ac.jp
使用言語	日本語
教室	5701 教室
授業概要・目標	和菓子は日本人にとって、生活に潤いをあたえてくれる、なくてはならないものである。その歴史は上代に遡るが、日本人の生活の変化とともに発展し、現在に至るまで人々に好まれている。和菓子は季節や年中行事と深く結びつき、現在に至るまで日本人の生活の一部になっているのである。この授業では、1）和菓子の種類と芸術性、2）日本人の生活と和菓子の関わり、3）和菓子の歴史という3つのテーマを軸に和菓子の基本的な知識について学ぶ。そして、受講生自身が自文化を振り返りながら、和菓子を取り巻く日本文化を深く理解する。
授業形態	1. 講義 2. ディスカッション 3. 発表 4. 実習
履修に関わる注意事項	この授業は実習を含みます。
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 いろいろな和菓子 第3回 和菓子の分類 第4回 季節と和菓子 第5回 和菓子の五感・菓銘・文様 第6回 年中行事と和菓子① 第7回 年中行事と和菓子② 第8回 和菓子の歴史① 第9回 和菓子の歴史② 第10回 和菓子の歴史③ 第11-12回 和菓子実習 第13回 発表① 第14回 発表② 第15回 総まとめ 予定は受講生と相談の上で変更することがあります。

テキスト	なし。プリントを配布する
参考書	1. 青木直己（2000）『和菓子の今昔』淡交社. 2. 川端道喜（1990）『和菓子の京都』岩波新書. 3. 中山圭子（1994）『和菓子ものがたり』新人物往来社. 4. 日本フードライセンス国際協会『和菓子コーディネーター検定教本』書肆侃侃房. 5. 北岡正三郎（2011）『物語 食の文化：美味しい話、味な知識』中公新書. 6. 早川幸男（2004）『改訂 2 版 菓子入門』日本食糧新聞社. 7. 藪光生（2015）『和菓子』角川ソフィア文庫.
成績評価	クラス活動 20%、宿題 40%、課題 40%
学習相談	授業の前後またはリクエストに応じて対応します。
その他 （自由記述欄）	・課題やレポートは期限までに提出してください。 ・授業を欠席する場合は、必ず担当教員にメールで連絡してください。 ・食物アレルギーがある人は担当教員に必ず知らせてください。

ILCC 授業シラバス

講義コード	JC103
講義科目名	音楽文化にみる日本
開講年度	2024 年度
開講学期	後期（秋冬期）
曜日時限	木曜日 2 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	柴田 あづさ
使用言語	日本語
教室	5701
授業概要・目標	この授業では、日本の音楽についてジャンルごとに歴史や伝統、楽器および旋律の特徴などを学ぶ。そして、代表的な作品を動画や実演で視聴し、歌詞を読み解き、歌う／演奏する体験を通してこの知識を深めていく。履修者は、日本の音楽に対する知識を身に付けるだけでなく、自国の似ている音楽との共通点や相違点を見出し、例を挙げながら詳しく説明できるようになることを目指す。
授業形態	1.講義 2.動画視聴および実演 3.体験 4.確認クイズの受験 5.宿題の提出
履修に関わる注意事項	講義終了前に理解度確認のためのクイズを実施する。出題する問題は授業内容についてであるため、授業中はキーワードのメモをとり、わからないことがあれば教員に積極的に質問すること。また、事前に資料を配布するので、授業前によく目を通しておくこと。
テキスト	使用しない
参考書	田中健次 (2018) 『図解日本音楽史 増補改訂版』東京堂出版 若林忠宏 (2019) 『日本の伝統楽器 知られざるルーツとその魅力 シリーズ・ニッポン再発見』ミネルヴァ書房 等
成績評価	授業態度 20%、理解度確認クイズ 30%、宿題 20%、発表 30%
学習相談	授業の前後または要望に応じて対応する。

授業計画（予定）

No.	日時	内容
1.	10/10 (木 2)	オリエンテーション、日本音楽の分類
2.	10/17 (木 2)	歌舞伎の音楽、楽器
3.	10/24 (木 2)	和太鼓
4.	10/29 (火 5)	【体験】和太鼓を弾いてみよう！（協力：九州大学和太鼓 華響）
5.	11/7 (木 2)	民謡・子守歌・童謡
6.	11/14 (木 2)	沖縄の島唄
7.	11/21 (木 2)	J-POP
8.	12/5 (木 2)	琵琶
9.	12/12 (木 2)	【体験】筑前琵琶を弾いてみよう！（協力：筑前琵琶「おとり度」 高木貴弘講師）
10.	12/19 (木 2)	振り返り、発表会の準備
11.	1/9 (木 2)	雅楽
12.	1/19 (日) 10:30-12:00	【体験】いろいろな和楽器を弾いてみよう！（協力：九州大学邦楽部）
13.	1/23 (木 2)	発表会 1
14.	1/30 (木 2)	発表会 2
15.	2/6 (木 2)	発表会 3

JLCC 授業シラバス
記入書式

講義コード	JC104
講義科目名	ドラマで学ぶ日本の歴史（幕末・明治編）
開講年度	2024年度
開講学期	後期
曜日時限	水曜日 2 時間目（10:30～12:00）
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	小山 悟
使用言語	日本語
教室	5701
授業概要・目標	授業概要：このクラスでは、2009 年 10 月から 3 ヶ月間 TBS 系列で放送された連続ドラマ『JIN 仁』（全 11 話）や 2008 年 1 月から 12 月まで NHK で放送された大河ドラマ『篤姫』（全 50 話）、2009 年から 2011 年にかけて NHK で放送されたスペシャルドラマ『坂の上の雲』（全 13 話）を題材に幕末～明治初期の歴史を学びます。 目標：歴史の授業と聞くと、年号や事件の暗記を思い浮かべるかもしれませんが、この授業はそうではありません。学習した内容が無批判に受け入れるのではなく、自ら問いを立て、自己の経験や既有知識と関連づけながら、合理的な説明を求めて多面的かつ論理的に分析できるようになることが（批判的思考力の育成）がこの授業の目標です。
授業形態	講義を中心に進めます
履修に関わる注意事項	・第 1 部～第 3 部は毎週予習と復習を合わせて 3 時間程度の学習が必要です。 ・歴史は漢字語彙が多いので、漢字圏出身の学生は J6 以上、非漢字圏出身の学生は J7 以上であることが望ましいです。幕末・明治の歴史に興味があれば、誰でも受講は可能ですが、上記の条件を満たしていない場合は（他の授業以上に多くの時間をかけて予習・復習をするなど）それなりの覚悟をして来てください。
授業計画	第 1 部：幕末史に対する興味・関心を高める／幕末史の学習に必要な不可欠な基礎知識を学習する 1. ガイダンス 2. 幕藩体制 3. 鎖国 第 2 部：幕末の大まかな歴史の流れを理解する 4. 幕末①：黒船来航から条約締結まで 5. 幕末②：将軍継嗣問題 6. 幕末③：攘夷運動の高まり 7. 幕末④：薩長同盟、そして討幕へ 第 3 部：明治初期の日本について様々な角度から分析する 8. 明治①：廃藩置県 9. 明治②：四民平等と徴兵制

	10. 明治③：地租改正と教育改革 11. 明治④：条約改正 第4部 ：第3部までに学んだ知識を使って現代の問題を分析する 12. 期末試験 13. 現在への応用Ⅰ 14. 現在への応用Ⅱ 15. 現在への応用Ⅲ
テキスト	ハンドアウトを配布します
参考書	特にありません
成績評価	①期末試験【25%】 ②予習【15%】 ③宿題【40%】 ④教室活動【20%】
学習相談	月曜日または金曜日
その他 (自由記述欄)	今後の授業改善と教育実践研究のため、授業内で行われるディスカッションを録音したり、提出物やクイズ、アンケートの結果を研究データとして活用したりすることがあります。前者については「話し合いがどの程度活発に行われたか」を分析するために、後者については「授業内容に対する理解がどの程度深まったのか」を分析するために使用します。受講を希望する方は、そのことを承知の上、ご参加ください。なお、みなさんに黙って録音することはありません。また、この授業で収集したデータを用いて学会等で研究発表する場合には、来場者に録音した音声を聞かせたり、手書きされたものを見せたりすることはありません。個人情報の保護に最大限配慮することをお約束します。

JLCC 25 期 授業予定表

講義コード科目名	JC105 四コマ漫画に見る日本 A - 笑いの異文化 -
開講年度、学期	2024 年 秋～冬学期
曜日時限	火曜日 3 限 13:00-14:30
担当教員	和田 玉己 (使用言語：日本語) qzj04446outlook.com
教室	5701
授業概要・目標	主に新聞連載の 4 コマ漫画を見て、その内容について話し合い、関連した読み物 (DVD 視聴) を通して日本の現代社会の理解を深める。また自国との笑い (ユーモア) の違いを知る。言葉遊びを含む様々な日本語表現に触れ親しみ、絵コンテ作成や自国の 4 コマ漫画の台詞を翻訳することによりオノマトペも含む自然な日本語力も高める。 ※自国の 4 コマ漫画を紹介発表し、それに基づいてレポートを作成する。
授業形態	課題として発表も行う。毎回の課題 (作品や関連資料) をもとにペアやグループで感想を紹介し疑問点を出し合い、ディスカッションも行う。
履修に関わる注意事項	1. 課題の予習を必ず行い、期限までに課題を提出する。 2. 他者の課題発表時にも積極的に質問やコメントすることが望まれる。
授業計画	第1回 オリエンテーション 福岡関連の漫画家 1 ^{はせがわ}長谷川マチ子 サザエさん ① 10 月 8 日 「世界が描いたコロナ漫画」 1 課題のための導入 ② 10 月 15 日 第2回 「世界が描いたコロナ漫画」 2 課題 1 提出 ③ 10 月 22 日 第3回 朝日新聞「サザエさんを探して」より 4 コマ漫画と記事 課題 2 提出 ④ 10 月 29 日 第4回 ^{きめつ やいば}『鬼滅の 刃』にみる^{せいちじゅんれい}聖地巡礼について 1 課題 3 提出 ・絵コンテ作成イントロダクション (オノマトペ、台詞や説明文を書く) ⑤ 11 月 5 日 第5回 (第4回の続き) ・4コマ漫画の起源 発表 絵コンテ発表 1 (選んだ 6 枚のイラスト※絵は描かない) 課題4提出 ⑥ 11 月 12 日 第6回 絵コンテ発表2 (アニメに掲載されている 4 コマ漫画など) 発展工場は日本人そのもの 課題5提出

⑦ 11月26日	第7回 言葉遊びが含まれる4コマ漫画や記事など
⑧ 12月3日	第8回 発表 日本の駄洒落 ^{だじゃれ} に挑戦 ダジャレと広告CM（同音異義） 課題6提出
⑨ 12月10日	第9回 発表 私の国の言葉遊び（ダジャレ、回文「ダンスがすんだ」） 7提出 私の国の言葉遊び（ダジャレ、回文「ダンスがすんだ」）続き
⑩ 12月17日	第10回 朝日新聞「サザエさんを探して」4コマ漫画と記事（方言） 課題8提出
⑪ 12月24日	第11回 方言続き（ネオ方言、翻訳と方言） 課題9提出
2025年	4コマ漫画「ちびまるこちゃん」？とエッセイの文章など 課題10提出
⑫ 1月14日	第12回 年末年始事情関連4コマ漫画やコト消費・モノ消費についてコロナ禍で思ったこと
⑬ 1月21日	第13回 発表「私が選んだ4コマ漫画」（出身国の漫画家によるもの）
⑭ 1月28日	第14回 発表「私が選んだ4コマ漫画」（出身国の漫画家によるもの）
⑮ 2月4日	第15回 発表 予備 発表者による補足とまとめ ・その他の漫画紹介（ショートストーリーなど）
テキスト	基本的にプリント(前の週に配布)を当日使用する
参考書	1. 清水勲『四コマ漫画—北斎 ^{ほくさい} から「萌え」まで』 岩波新書
成績評価	クラス活動の参加態度、提出されたワークシート、発表、レポートなどに基づいて総合的に評価する。 ・平常点：出席とクラス活動:20%(積極的な参加、クラスへの貢献度^{こうけんど}) ・宿題：ワークシート:20% ・発表とレポート:60%
学習相談	授業の前後またはリクエストに応じて対応する(メールで事前に連絡すること)。
その他	※予定は変更になることがある。

新聞掲載の4コマ漫画記事例

朝日新聞「サザエさんを探して」4コマ漫画と記事

☆ 期末の発表、レポートについて

4コマ漫画に見る「笑いの異文化」 「私が選んだ4コマ漫画」

① 発表 一人10から15分（10分発表後 質問、話し合い5分）

- ・ **自分の国の4コマ漫画を紹介する。**
- ・ なぜこの4コマ漫画を選んだか。おもしろいと思う点などを説明する。
（その国特有の事情や、ユーモアなどについて説明すること。）
- ・ 発表のとき4コマ漫画のコピーを持ってくる。作者、出典を明記すること。
（作者のプロフィールも簡単に紹介する。）

※参加者は発表者に質問などし、コメントを用紙に必ず書く。

自分の発表以外の日にも必ず参加すること

（※お知らせ：春学期のテーマは「**外国人漫画家**があなたの国についての**ステレオタイプや国民性**を表したもの」になる。）

② レポート・A4サイズ用の紙1枚に漫画のコピーを貼る。

A4サイズ1枚に発表と同じ内容 1200字程度

※ 発表時のコメントを参考にし、参加者の反応とそれに対する自分の考えを付け加える